

# Domaine Heitz Lochardet

ドメヌ・ハイツ・ロシャルデ

新世代によるブルゴーニュ再興を象徴するシャサーニュの新星



ドメヌ・ハイツ・ロシャルデの歴史は1857年に遡ります。ワイン商を営んでいたジョルジュ・ロシャルデ一家は、幾年もの歳月を経て総面積20ヘクタールに及ぶ数々の名高い銘醸畑を手に入れ、当主ジョルジュは自らが亡き後にその半分を息子のアルマンに遺しました。アルマンには3人の子供がおり、1983年に娘のブリジットがクリスチャン・ハイツと婚約し、それから数年後にドメヌ・ハイツ・ロシャルデが設立されました。その後長らく、ドメヌで生産されたワインは、ドメヌの自社畑の管理を任されていたメゾン・ドルーアンに全て売却されていました。

ブリジットとクリスチャンの息子であるアルマン・ハイツは、2011年に醸造学を修めた後にドメヌの経営権を受け継ぎました。アルマンは、自らのワイン作りの腕前を試すため、最初に家族から譲り受けた2つの小さな区画で試験栽培を行い、そこで成功を取めた後に、シュヴァリエ・モンラッシェの小さな一区画を含む、より重要でステータスの高い自社畑でのワイン作りに着手し、2013年に自らが手掛けたワインを初めて市場にリリースしました。それ以来毎年、ドメヌの自社畑の経営権を少しずつ取り戻し、2017ヴィンテージには、非常に有力な銘醸畑を含む計8ヘクタールの自社畑をドメヌの管理下に収めています。

アルマンは、ドメヌの経営権を手にした当初よりビオディナミ農法の原則を全ての畑で採り入れることを決めていました。白ワインの醸造は、新樽の使用比率を最小限に抑えた伝統的手法を採用し、赤ワインは、ホールパンチ方式で房ごと圧搾。この醸造手法がビオディナミ農法によって栽培されたブドウに最も適しているとアルマンは考えます。アルマン・ハイツは、21世紀初頭より新しい世代の若者たちが担ってきたブルゴーニュ再興を象徴する若く偉大なヴィニュロンの一と言えるでしょう。

■テクニカル情報■ ドメヌ所在地:コート・ド・ボヌ地区シャサーニュ・モンラッシェ村 畑面積:8ha 主要品種:シャルドネ、ピノ・ノワール 栽培:ビオディナミ農法 醸造:白ワインは、新樽の使用比率を最小限に抑えた伝統的手法。赤ワインは、ホールパンチで100%全房発酵。バトナージュを行いながらの樽熟成の期間は12ヶ月前後で、瓶詰前に必要に応じて軽くろ過・清澄。SO2は全く添加しないか必要最小限。

## ■2017 ヴィンテージ情報■ 【バーグハウンド#75号 2019年6月10日掲載記事より】:

若きアルマン・ハイツは、この小規模ながらも成長著しいドメヌの牽引役だ。ドメヌが直接管理する自社畑に最近新たにモルジョが加わったことで、今後数年間にわたって赤ワインの品揃えが更に充実してゆくだろう。

アルマン・ハイツ:「2017年は、前年に続く霜害リスクを無事に避けることが出来た後は、暖かく理想的な気候条件に恵まれた。この年の収穫は早く、シュヴァリエ・モンラッシェでは8月27日に収穫を開始し、その後すぐ他の畑に着手した。収穫量に関しては、ピノ・ノワールは非常に豊作だったが、シャルドネは開花時期にほんの僅かだが花振るいが見られたため、収穫量もあまり多くはなかった。ワインの仕上がりに関しては、赤ワインの出来は好ましく、白ワインも心底素晴らしいと感じている。どちらも熟成力の高いものに仕上がった。」

ハイツの手掛けたこの年の白ワインの中には、中長期的なセラー熟成で素晴らしい見返りが期待できる美しいワインがいくつも見られ、この点においては筆者も生産者と全く同意見である。ハイツ曰く、これらの白ワインは軽いろ過・清澄処理を経て2018年9月に瓶詰されている。遊離SO2のレベルはおおよそ35ppmで、CO2の値は800~900mgほどだ。

## ~White Wine~

### 2017 Meursault En la Barre

上代価格 ¥8,300(税抜)

#### ムルソー・アン・ラ・パール

アン・ラ・パールは、コント・ラフォン・モノポールで銘醸畑として名高いクロ・ド・ラ・パールに隣接する区画で、粘土質の強いマール(泥灰)土壌で、柑橘系のフレッシュな酸と芳醇な果実味を持つエレガントなワインを生みます。

■テクニカル情報■ 畑:村名畑アン・ラ・パール(面積:0.5ha/粘土質の強い泥灰土/クロ・ド・ラ・パールに隣接) 品種:シャルドネ 100%

#### ★バグハウンド 88 点 #75 2019 年 6 月 10 日 (飲み頃:2023+年)

ヘーゼルナッツや様々な白い木生り果実の複雑味のあるエレガントなアロマにマッチを擦ったような香りが仄かに感じられる。官能的できめ細やかなテクスチャーを持つ軽やかな味わいは、素晴らしく深みがあり、円やかな収斂性を伴う余韻の長い後味が広がる。



#### ★ジャンシス・ロビンソン 16/20 点 2019 年 1 月 8 日 (飲み頃:2019~2022 年)

石の香りを纏った柑橘系果実のアロマが香る。タイトでフレッシュな味わいだが、美しくクリーミーなテクスチャーを纏い、程良いバランスを保っている。軽やかでクリーンな切れ味があり、ムルソーにしてはすっきりと引き締まった後味が感じられる。

### 2017 Meursault Les Gruyaches

上代価格 ¥9,800(税抜)

#### ムルソー・レ・グリュヤッシュ

一級畑シャルムのちょうど真下に位置するレ・グリュヤッシュの区画は、石の含有率が少なく粘土質の強い土壌を持ち、ふくよかで瑞々しい果実味を持つミネラリーな白ワインを生みます。

■テクニカル情報■ 畑:村名畑グリュヤッシュ(面積:0.3ha/一級畑シャルムに隣接) 品種:シャルドネ 100%

#### ★バグハウンド 89 点 #75 2019 年 6 月 10 日 (飲み頃:2024+年)

柑橘系果実やヘーゼルナッツ、アカシアの花の香りに柔らかなスパイスのニュアンスが仄かに香るフレッシュで軽やかなアロマ。生き生きと快活でリッチな味わいが引き立つミディアムボディ。厚みのあるミッドパレットに、すっきりと焦点の定まったクリーンでドライな後味が、ほろ苦いレモンのニュアンスが仄かに香る爽やかな余韻を生む。

### 2017 Chassagne Montrachet 1er Cru La Maltroie

上代価格 ¥10,500(税抜)

#### シャサーニュ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ・ラ・マルトロワ

■テクニカル情報■ 畑:1 級畑マロトロワ(面積:0.7ha/泥灰、石灰、黄・赤の粘土、岩、砂利から成る複雑な土壌) 品種:シャルドネ 100%

#### ★バグハウンド 92 点★Outstanding★(傑出したワイン)#75 2019 年 6 月 10 日 (飲み頃:2024+年)

ロシャルデの手掛ける白のモルジョに極めて近いアロマが感じられるが、こちらの方が若干フローラルなニュアンスを持つ。柔らかく官能的で瑞々しく鮮やかな味わいのミディアムボディ。口当たりが実に魅惑的で、素晴らしく複雑味のある余韻の長い後味に、柑橘系の酸がくっきりとした輪郭を添える。モルジョの白ワインの良さには非の打ちどころがないが、このワインには明らかにモルジョとは別次元の魅力がある。

#### ★ジャンシス・ロビンソン 16/20 点 2019 年 1 月 8 日 (飲み頃:2019~2023 年)

豊かな柑橘系果実のアロマと共に粗挽きにした穀物の軽やかな香りが感じられる。素晴らしくフレッシュでいて、濃厚な味わいが際立つ。細部までくっきりと緻密で瑞々しい後味が垂涎を誘う。

### 2017 Chassagne Montrachet 1er Cru Tête du Clos

上代価格 ¥13,000(税抜)

#### シャサーニュ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ・テット・デュ・クロ

■テクニカル情報■ 畑:1 級畑テット・デュ・クロ 品種:シャルドネ 100%

#### ★バグハウンド 92 点★Outstanding★(傑出したワイン)#75 2019 年 6 月 10 日 (飲み頃:2024+年)

一級畑ならではの格別な重量感と凝縮感のある力強き引き立つミディアムボディ。どこまでも続く余韻の長い後味は、青々とした植物由来の芳しさとはほんの僅かに素朴さを感じさせる。香りが落ち着くまでにもう1~2 年程寝かせる必要があるが、熟成を経て一体感を増してゆくだろう。今回の評点もそのポテンシャルを加味したものである。

### 2017 Meursault 1er Cru Les Perrières

上代価格 ¥19,800(税抜)

#### ムルソー・プルミエ・クリュ・レ・ペリエール

■テクニカル情報■ 畑:1 級畑ペリエール(面積:0.7ha/斜面下方のエズ・クレ、レ・プラス/粘土質が弱く石が多い) 品種:シャルドネ 100%

#### ★バグハウンド 93 点★Sweet Spot Outstanding★(極めて胸を打つ傑出したワイン)#75 2019 年 6 月 10 日 (飲み頃:2027+年)

実に様々な表情を持つ多面的な香りで、豊かな柑橘系果実のニュアンスと共にふくよかな花の香り、青林檎やミネラリーな還元香を帯びたアロマが煌めくように香る。味わいはミディアムボディで、最初の印象は生き生きと生彩でいて官能的。終盤に向かうにつれて傑出したミネラル香が豊かに感じられ、ドライで品のある非の打ちどころのないほどにバランスのとれた後味が広がる。実に美しくクラシックなペリエール。

## ~Red Wine~

### 2017 Chassagne Montrachet Rouge 1er Cru Morgeot

上代価格 ¥8,800(税抜)

シャサーニュ・モンラッシェ・ルーージュ・プルミエ・クリュ・モルジョ

モルジョの一面を成すこのピノ・ノワールの区画フランスモンは、つい最近ドメヌの管理下に収まった自社畑で、2017年が初回ヴァンテージとなります。粘土石灰質で粘土分が多いため、肉付きのよい赤ワインを生むことで知られています。

■テクニカル情報■ 畑:1級畑モルジョ(区画名:フランスモン/粘土質の強い粘土石灰質/2017年が初回) 品種:ピノ・ノワール 100%

★バーグハウンド 89点 #74 2019年4月10日(飲み頃:2023+年)

柔らかなトースト香を帯び、大地や胡椒の香りを湛えた赤スグリやプラムのアロマが香る。素晴らしくリッチで滑らかなテクスチャーを持つ深みのあるミディアムボディ。奥深く余韻の長いバランスのとれた後味が広がる。若々しさを好むのであれば、酒齢の若いうちから楽しめる。

### 2017 Pommard 1er Cru Clos des Poutures

上代価格 ¥13,000(税抜)

ポマール・プルミエ・クリュ・クロ・デ・プテュール

「クロ・デ・プテュール」は、ハイツ・ロシャルデが1級畑プテュールの中に単独所有するモノポールのクロ(石垣で囲われた区画)で、きめ細やかで緻密なタンニンを持つエレガントな赤ワインを生みます。

■テクニカル情報■ 畑:1級畑プテュール(面積:0.66ha/区画名:クロ・デ・プテュール/モノポール/粘土石灰質) 品種:ピノ・ノワール 100%

★バーグハウンド 90点 #74 2019年4月10日(飲み頃:2024+年)

このワインもまた柔らかなトースト香と共に大地や下草のニュアンスが豊かに感じられ、モルジョよりもややエレガントな赤スグリのアロマが香る。細部までくっきりとした緻密さを持つミディアムボディで、きめ細やかなタンニンに由来するエレガントな口当たりを持ち、魅力的で複雑味のある余韻の長い後味にポマールらしい素朴なニュアンスがほんの僅かに感じられる。

★ヴィノス 90点 2019年1月 ニールマーティン(飲み頃:2020~2029年)

2017年のポマール・クロ・デ・プテュール・プルミエ・クリュの持つ仄かに下草の香りを帯びたフレッシュな熟成香は、今の段階ではまだ継ぎ目が緩やかに感じられるが、時と共によりしっかりとした纏まりを増してゆくに違いない。味わいはミディアムボディで、きめ細やかなタンニンが感じられる。エレガントで美しく静謐なバランスを湛えたポマールで、胡椒の香りを纏った可憐な後味にオークの香りが刺繍のように美しく縫い込まれている。長期熟成型のワインではないが、アルマン・ハイツの手により実にしっかりと見事に紡ぎあげられたワインである。

### 2017 Pommard 1er Cru Les Rugiens

上代価格 ¥15,500(税抜)

ポマール・プルミエ・クリュ・レ・リュジアン

■テクニカル情報■ 畑:1級畑リュジアン(面積:0.43ha/区画名:リュジアン・オー) 品種:ピノ・ノワール 100%

★バーグハウンド 92点 ★Sweet Spot★(胸を打つワイン)#74 2019年4月10日(飲み頃:2029+年)

木樽のニュアンスは、他のキュヴェほど微細なものではなく、フローラルなニュアンスが引き立つ明るく軽やかなアロマの上にメントールの香りが感じられる。比較的しなやかな味わいのミディアムボディで、きめ細やかな緻密さと豊かなミネラルを併せ持ち、乾いた大地の質感を思わせる若々しく収斂性のある後味が長期熟成力を物語る。

★ヴィノス 92点 2019年1月 ニールマーティン(飲み頃:2021~2034年)

2017年のポマール・レ・リュジアン・プルミエ・クリュは、くっきりと焦点の定まった明るく快活なブーケを持ち、グラスから溢れ出すように香る赤いチェリーやバラの花びら、仄かなベルガモットの香りは、正に至福である。軽やかなスパイスの風味が広がるミディアムボディの味わいは、キメの粗いタンニンに心地よい酸を湛え、きめ細やかなストラクチャーを持つ余韻の長い後味が広がる。スタイルとしてはやや保守的だが、実に見事な仕上がりである。



★ジャンシス・ロビンソン 16.5/20点 2019年1月8日(飲み頃:2022~2027年)

外観は軽やかなチェリーレッド。オーク由来の甘みがあり、仄かなヴァニラのニュアンスさえ感じられるが、果実の濃厚さも際立つ。柔らかなコクのあるタンニンを持つ円やかで調和のとれた味わい。酒齢の若い今の段階においては、クロ・デ・プテュールよりもバランスがとれている。

### 2017 Volnay 1er Cru Les Taillepieds

上代価格 ¥14,500(税抜)

ヴォルネイ・プルミエ・クリュ・レ・タイユピエ

勾配の険しい斜面中腹に位置するタイユピエの区画は、石灰質の強いマール、シルト、小石が混合し、豊かなミネラル感を持つフローラルでエレガントな赤ワインを生みます。10年以上の長期熟成力を持つ極めてポテンシャルの高いワインです。

■テクニカル情報■ 畑:1級畑タイユピエ(面積:0.37ha/土壌:石灰質の強いマール、シルト、小石が混合) 品種:ピノ・ノワール 100%

★バーグハウンド 91点 #74 2019年4月10日(飲み頃:2029+年)

魅力的でスパイシーな香りとまたしても著しくフローラルなニュアンスが引き立つアロマは、ハーブティーや黒いベリー、柔らかな赤スグリの香りが感じられる。濃厚でくっきりとした美しい輪郭を備えたミディアムボディの味わいは豊かなミネラル香に満ち、乾いた大地の質感を持つエレガントでほんの僅かにドライな要素を持つ後味が広がる。後味のこのドライなニュアンスは、酒齢を重ねるにつれて次第に薄れてゆくだろう。